

2021年度 ボランティアプラザ中間支援助成 報告会
NPO 法人ひとまちあーと 「たつのイベント運営プラットフォーム創出事業」
【たつの・西播磨エリアの課題】

これまで、中間支援組織として、個人事業主から任意団体、NPO 法人、一般社団法人まで様々な規模の団体の相談に応じてきたなかで、最も多くの課題を抱えているのが「任意団体」であった。

地域社会において重要な役割を果たしてきた地域団体は、法人格を持たないが故に、「補助金頼り」「ボランティアによる運営」といった構造的課題を抱えてきた。近年では、「任意団体の事務局機能を当法人に集約してほしい」との相談が増加している。

【解決策】

「たつのイベント運営プラットフォーム」

事務局機能を集約する新たなプラットフォームを創出することで、負担の押し付け合いではなく、新たな事業展開が可能な体制へと発展させる。このプラットフォームによって得られる効果は以下の2点が考えられる。

- ① 間接部門や広報作業を集約することで効率的な運営体制を整えられる。
- ② 来場者数等の実績を合算できるので、企業等への広報・広告の訴求効果が高まり、広告協賛費を獲得しやすくなる。

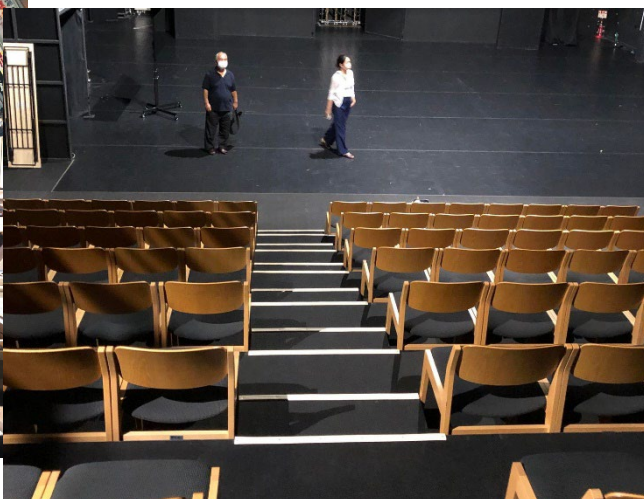
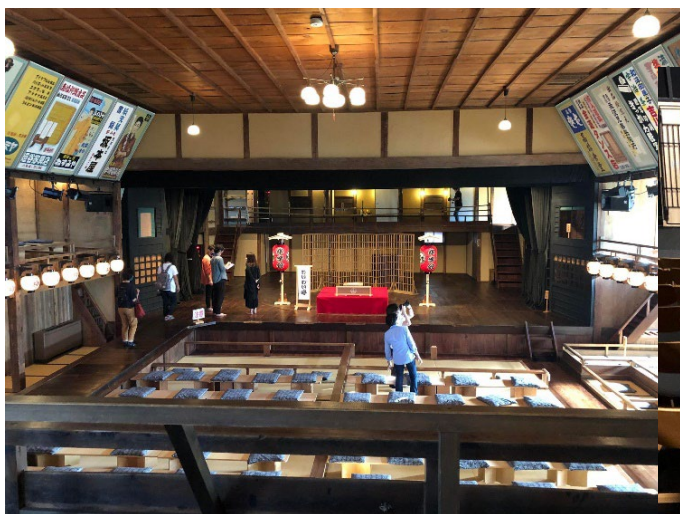
【今年度の取り組み】

i. 2021年10月10～11日

先進事例視察調査@豊岡市出石地区 / 城崎地区, 鳥取県鹿野町

訪問先：鳥の劇場、いんしゅう鹿野町まちづくり協議会、出石永楽館、城崎国際アートセンター、県立芸術文化観光専門職大学、山本屋(豊岡演劇祭実行委員長)

目的：「芸術」や「文化」をキーワードに様々なまちづくりの施策を実行してきた豊岡市。市民の立場で中心となって行動されている高宮氏（豊岡演劇祭実行委員長）に豊岡のまちづくりについて現地を案内してもらった。鹿野地区では、「鳥の劇場」の代表中嶋氏と劇場を中心としたまちづくりの可能性について議論しながら案内してもらった。



2021年11月11日(木)

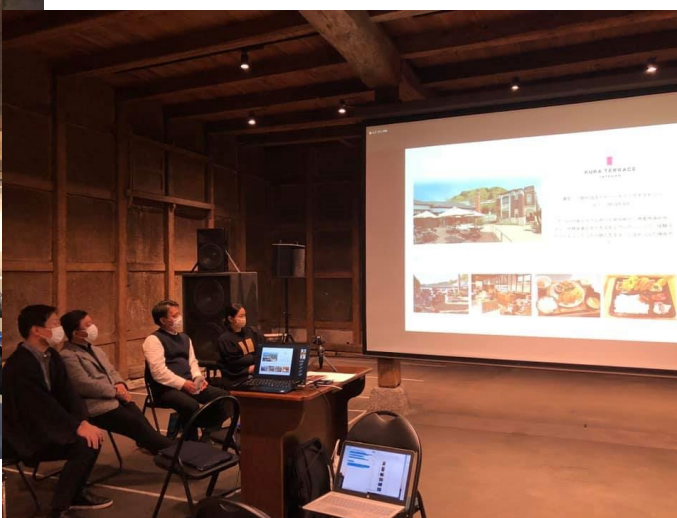
ムカシミライ学校まちづくり勉強会「岐阜の地域商社事例勉強会」

会場：みの劇場（たつの市龍野町川原 82）

登壇者：NPO 法人 ORGAN 蒲 勇介 氏

参加者数：49名

目的：岐阜県の長良川流域を中心に途絶えようとしている伝統工芸を繋ぎ合わせた地域商社「長良川デパート」を運営する NPO 法人 ORGAN の蒲氏をお招きし、龍野の産業や商業の今後の展開について議論する。



ii. 2022年2月24日(木)

ムカシミライ学校まちづくり勉強会「小さな世界都市を目指したまちづくり」

会場：みの劇場（たつの市龍野町川原 82）

登壇者：前豊岡市長 中貝 宗治 氏

目的：城崎国際アートセンターの運用や芸術文化観光専門職大学の開学等、アートを中心に様々なまちづくりの施策を実施してこられた、前豊岡市長・中貝氏をお招きし、「アート」をキーワードとしたまちづくりの今後の展望について議論する。

【成果】

2021年11月3日～29日

「たつのアートシーン 2021」開催

2019年まで「龍野オータムフェスティバル」として開催してきた(2020年はコロナのため中止)ものを発展。来年度以降、本格的に動き出すプラットフォームの在り方を地域団体に理解してもらうことができた。期間中の来街者数は8万人、来場者数は延べ1万6千人を超え、大盛況のうちに閉幕した。

